

コロナ禍で影響を受けた合唱団を応援する「ボイスケアコンクール」 ゴスペラーズが高校生と夢のセッションを行なった「ドキュメンタリー動画」公開 優勝発表の瞬間から緊張の本番まで、感動の模様をお届け

カンロ飴やピュレグミなどでおなじみのカンロ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 村田 哲也、以下 カンロ）は、全国の合唱団をはじめとした歌に関わる方々を応援する「ボイスケアプロジェクト」の一環として、コーラス団体や有志のチームを集い、人気アーティストのゴスペラーズさんが最終審査を行ったオンラインの合唱コンクールを昨年開催しました。

コンクールの優勝団体のもとにゴスペラーズさんが訪問し、優勝団体と夢のセッションを行なった様子を収めたドキュメンタリー動画を、2023年2月20日（月）より、特設サイトにて公開します。



《コロナ禍で大きな影響を受けた合唱団を応援する「ボイスケアプロジェクト」がコンクールを実施！》

「ボイスケアのど飴」は、国立音楽大学声楽科の教授監修のもと学生の声を聞きながら、試作を繰り返してつくった「声とのどを大切にしたい人」のためののど飴です。従来ののど飴にはなかった「声をケアする」という価値を持つ商品として、日常的に「声」と「のど」を使う方の強い味方となっています。

2021年からは、ボイスケアのど飴の売上の一部を全日本合唱連盟に寄付しており、集まった寄付金は、同連盟の大会運営に活用されています。

一方、昨今のコロナ禍で、活動の制限や発表会の中止など、同じ場所に立ってみんなでひとつの歌を歌うことが難しい状況が続いた背景を受け、カンロでは歌に関わる方々を応援する取り組みとして「ボイスケアプロジェクト」を始動しました。

その中で、2022年9月より「ボイスケアコンクール」を開催。コンクールでは、長く歌い続けているからこそ歌を頑張る方々を応援し、導ける存在として、日本を代表するヴォーカル・グループのゴスペラーズさんに一緒に取り組んでいただくこととなりました。

最終審査の課題曲は、ゴスペラーズさんの代表曲「永遠(とわ)に」、さらにゴスペラーズさん自ら最終審査を実施。激戦の結果、優勝団体は愛知県立豊田東高校合唱部に決定しました。

豊田東高校合唱部は1～2年生の女子生徒8名で活動し、普段は地域のコンサートやお祭り、定期演奏会などに向けて練習していましたが、コロナ禍の影響により活動が制限され、20人以上いた部員が一時は2人という廃部寸前まで激減。

そうした中、部活動の思い出として心に残る活動ができないかと探している時に、「ボイスケアコンクール」の存在を知り応募。コンクールに向け力を合わせて練習を重ねた結果、優勝を手に入れることができました。

《ゴスペラーズが優勝団体を応援訪問！夢のセッションを行ったドキュメンタリー動画を公開》

昨年12月には、優勝団体の決定を記念し、ゴスペラーズさんが優勝団体のもとへ訪問。トロフィー贈呈や、一緒に「永遠(とわ)に」を歌う一夜限りの特別セッションを実施しました。

今回、優勝団体発表の瞬間から、特別セッションに至るまでのドキュメンタリー動画を公開します。

ドキュメンタリー動画では、優勝が発表された瞬間や当日ゴスペラーズさんと初めての対面に歓喜したり、涙を浮かべる豊田東高校合唱部のメンバーの様子、そして家族や友人を前に「永遠(とわ)に」のセッションを披露した模様を収録しています。

歌を頑張るすべての方にエールを贈る内容となっておりますので、ぜひご覧ください。



【ゴスペラーズさんコメント】

豊田東高校合唱部は、歌う喜びに満ちていたのが印象的で、優勝団体として決定しました。

同年代が同じ目的に向かって力を合わせている姿が素敵で、僕たちも同じようにスタートしたことを思い出し、瑞々しいパワーを受け取ることができました。

声を合わせることで、理解し合い、世代をも超えることができると考えています。ボイスケアのど館が中心となって、声、歌で仲間とつながっていければ嬉しいです。

「ボイスケアプロジェクト #合唱前夜のおまじない」ドキュメンタリー動画

<https://youtu.be/bAeYFpnv57M>

「ボイスケアプロジェクト #合唱前夜のおまじない」特設サイト

https://kanro.jp/blogs/campaign/voice_omajinai

■ゴスペラーズ プロフィール



北山陽一、黒沢 薫、酒井雄二、村上天つや、安岡 優からなるヴォーカル・グループ。早稲田大学のアカペラ・サークル「Street Corner Symphony」で結成。メンバーチェンジを経て、1994年12月21日、シングル「Promise」でメジャーデビュー。以降、「永遠（とわ）に」「ひとり」「星屑の街」「ミモザ」など、多数のヒット曲を送り出す。他アーティストへの楽曲提供、プロデュースをはじめ、ソロ活動など多才な活動を展開。日本のヴォーカル・グループのパイオニアとして、アジア各国でも作品がリリースされている。2019年12月21日にメジャーデビュー25周年を迎え、2022年7月6日にグループ初となるセルフカバーアルバム「The Gospellers Works 2」を、2022年12月21日にはDVD&Blu-ray「ゴスペラーズ坂ツアー2022 “まだまだいよ”」をリリース。2023年12月21日にはメジャーデビュー30年目を迎える。

<カンロ展開ブランド>



■「カンロ」会社概要

社名：カンロ株式会社

代表：代表取締役社長 村田哲也

所在地：東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 東京オペラシティビル37階

創業：1912年(大正元年)11月10日

事業内容：菓子、食品の製造および販売

URL：コーポレートサイト <https://www.kanro.co.jp/>

KanroPOCKeT <https://kanro.jp/>

当社は創業から110年、社名になっている「カンロ飴」を始め、ミルクフレーバーキャンディ市場売上No.1ブランド※「金のミルク」、菓子食品業界で初ののど飴となる「健康のど飴」、大人の女性に向けたガミ市場を創り上げた「ピュレガミ」など、常に消費者の皆様から愛され続ける商品を創り続けてまいりました。2012年からは直営店「ヒトツブカンロ」を運営し、「ヒトからヒトへ つながる ヒトツブ」をコンセプトにキャンディの魅力を発信しています。

※株式会社インテージ S R I + ミルクフレーバーキャンディ市場

2021年4月～2022年3月累計販売金額ブランドランキング

■ パーパス「Sweeten the Future ～心がひとつぶ、大きくなる。～」



カンロはこの世界にもっと
「心がひとつぶ、大きくなる。」瞬間を
つくっていきます。

カンロは、2022年、企業パーパス「Sweeten the Future ～心がひとつぶ、大きくなる。～」を定めました。変化が激しく、先行きが不透明・不確実な時代の中、カンロがこれまで歩んできた道程を確認の上、自分たちの未来への想いを言語化したものです。糖から未来をつくり、糖の力を引き出す事に挑み続けてきたカンロが企業活動の中で培った技術をさらに進化させることで、「心がひとつぶ、大きくなる。」瞬間を積み重ねて人と社会の持続可能な未来に貢献してまいります。